

国頭地区教育課程研究 【総合的な学習の時間】

「思考力、判断力、表現力を育てる指導とその評価方法等の工夫改善について」

～ 指導と評価の一体化を図る実践を通して ～

(1) 単元名：「稲を育てよう」 65時間

(2) 単元の目標：米作りに関心を持ち、田植えや稲刈りをするを通して、食の生産、流通及び安全について考える。

(3) 本時のねらい：グループで調べたことを工夫して発表する。

国頭地区教育課程研究「総合的な学習の時間」の研究授業である。去年度より引き続き2年目の研究になる。昨年度は、台風の影響により稲の生育に影響を期し、一番楽しみな収穫ができなかった経緯がある。今年度は研究員たちも気合を入れて、ぜひ子ども達にとって最高の時間と、授業研究の充実を目指して取り組んでいる。



研究員以外の同僚も授業の参観に来てくれた(右写真)。稲作から「個人の生き方」を見つめる「総合的な学習の時間」としての研究の深まりに期待する。

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。



写真①

深い思考を促すためには、それなりの教室の環境が大切である。つまり学習環境である。深い思考は整然とした環境と静かな仲間達との「対話」から発生する。

5年2組N先生の教室は見事である。ロッカーや教室の掲示物(写真①)が美しい写真②は、子ども達の学習の跡である。自分たちの頑張りが教室に掲示されることは賞賛と承認を得ることになる。



写真②

[授業の始まり] 調べたことを発表する。

本時の学習の流れを確認する(写真③)前時に引き続いての「調べたことの発表である。」発表のマナーや、聴く側のマナー質問の仕方、応答の仕方等が確認される。

写真④は、教師の話を聴く子ども達である。リラックスしてしっかり聴いている先生の話を「分かって聴く」姿勢がどの子からも伺えた。教師と子どもの関係がいいから「聴き合う」が成立する。投げ出したり伏せたりする子は一人もいない。皆が集中している。



写真③



写真④

[授業の流れ(パターン)]

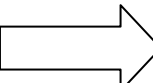


発表の流れ

- ① 自己紹介
- ② テーマと内容の発表
- ③ 質問(Q&A)
- ④ アドバイスシートの記入
- ⑤ 各グループのアドバイスや感想の発表



Q&Aの後各々アドバイスシートを書き込む



グループでアドバイスシートを集約する。



慣れている。発表も質問も発表側、聴く側のマナーもいい。スムーズに学習は進行する、とくにアドバイスと感想には、発表グループへの心づかいさえ感じた。



1グループ目 テーマ：「米の品種について」



2グループ グループ名：モンスターハンター
テーマ：害虫から米をどう守るか！



3グループ グループ名：レキシーズ
テーマ：お米の歴史について



【調べたことを発表する。】

〔評価規準と評価資料〕

同じグループのメンバーと協力して活動に取り組むことができる。

〔評価資料〕

(1)行動観察

協力性、発表・質疑応答の態度、発表の礼儀作法。

(2)資料観察

ワークシート、発表資料
アドバイスシート。

発表に慣れているのだろうか？
照れやつまづきがほとんどない。た
だどしい発表もあるが、その子
なりの頑張りが学級員(仲間達)に
認められている。「聴いてくれる」
という安心に支えられて発表に臨
んでいる。素晴らしい！

Q&Aについても、分かることに
関しては誠意をもって回答し、分
からないことについては素直に謙
虚に対応している。

発表の後は、聴く側の各自でアド
バイスシートを作成する。頑張った
発表グループに対してこれも誠意
をもって記入し、グループ内で互
いの考えをすり合わせ、伝えるこ
とを集約している。

発表グループへのアドバイスと
感想も素晴らしい。みんな頑張
っているからお互いにもっとよ
くしていきたい、そんな心が見
えてくる感想だ。

【 2枚の写真 】

仲間の発表に向けられる、同じ仲間の
聴き入る眼である。『眼差し』という。



教室の中で、子ども達が一番安心し
ていられるのは、仲間の「聴いてく
れる」行為である。相手が真摯に聴い
てくれるから、「私も話せる」である。



☆この発表する仲間に向けられる「眼差し」を見よ！

N先生、お疲れ様でした。素晴らしい授業でした。どの子も自信を持って発表していました。声の小さな子、恥ずかしがり屋、緊張する子など様々な子ども達です。実はそれが、「何ものにも代えがたい」この子たちの個性なんです。それを分かってあげられる教師にしか子どもは心を開きません。形式ばった評価にばかりとらわれすぎず、子どもの個性や、その子なりの頑張りなど、子どもの内面の頑張りも見えてあげられる教師を目指しましょう。